



ごあんぜんに

Vol. 45

四 国 地 方 整 備 局
港 湾 空 港 部 室
工 事 安 全 推 進 室

R5. 7. 1

巻頭ご挨拶

日頃より、港湾行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
 港湾空港関係の死傷事故は、長期的には減少しておりますが、近年はほぼ横ばいで令和4年度の工事事故件数は前年度と同程度発生しており、死亡事故も3年連続発生している状況です。
 四国地整(直轄工事)では、平成14年より死亡事故ゼロを継続しておりますが、重大事故に繋がりがねない事故やヒアリ・ハット事案は変わらず発生しておりますので、受発注者間との連携を密にして、より現場状況を把握・共有することで、無理のない現場となりますようお願いいたします。
 今年は梅雨時期から気温が上昇しており、高温多湿下での作業は注意力が低下するため、重大事故に繋がることが懸念されます。今一度、現場作業員の健康管理として、こまめな水分補給や涼しい場所での休憩など熱中症対策に取り組んでいきましょう。
 他方、新型コロナウイルス感染症は、5月8日から「5類感染症」に移行しておりますが、6月の予防接種・ワクチン分科会では「新型コロナウイルス感染者数が拡大傾向にある」と報告がされており、感染症予防と熱中症対策をうまく使い分けての対応が必要です。
 日頃から、安全対策も含め施工手順を徹底いただき、基本的な取り組みを確実に実施することで、無事故・無災害を達成しましょう。ご安全に。

工事安全推進室長 前田昌弘

令和5年度 第1回 工事安全強化期間

(令和5年 7月1日 ~ 7月15日)

安全強化期間 スローガン

無事故の現場は
みんなの意識と行動から



四国地方整備局の港湾空港関係直轄工事においては、令和5年7月1日~7月15日を令和5年度第1回工事安全強化期間と定め、スローガン(標語)を用いたポスター掲示やワッペン着用、稼働中現場における安全パトロール等の取り組みを実施予定です。

今回のスローガンは、幅広い港湾空港関係職員から多数の応募がありました。その中から高松港湾・空港整備事務所の藤井さんの作品を採用させていただきました。ご多忙の中、応募いただいた方々はありがとうございます。

○港湾・空港関係直轄工事(全国)における死傷災害発生状況

単位(人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
死亡者数	0	0	1	2	1
負傷者数(1)	15	12 (1)	16	7	7 (1)
負傷者数(2)	23	20 (3)	14 (2)	17 (1)	18
計	38 (0)	32 (4)	31 (2)	26 (1)	26 (1)

全国における合計件数。() : 四国における発生件数で内数。負傷者数(1)・・・休業4日以上、負傷者数(2)・・・休業4日未満
 出典 国土交通省港湾局技術企画課調べ

少しずつ死傷災害発生件数は減少傾向にありましたが、昨年度から横ばいとなっています。また死亡者は、令和2年度から3年連続で発生しているという状況です。なお死亡事故について、令和2年度と令和3年度は潜水作業中に、令和4年度は曳航作業中に発生しています。

令和5年度の四国地方整備局における港湾空港関係直轄工事について、過去に管内で発生した事故の再発防止等を考慮して、次のとおり工事事故防止に関する重点対策(案)を策定しましたので、ご協力をお願いします。

1. 事故防止に係る重点対策

港湾局通知「港湾空港関係直轄工事の事故防止に係る令和5年度重点対策について」により、以下のとおり設定し関係者へ周知する。

- ①はさまれ・巻き込まれ事故の防止対策
- ②重機等との接触事故の防止対策
- ③墜落・転落事故の防止対策
- ④飛来・落下物による事故の防止対策
- ⑤海中転落事故の防止対策
- ⑥潜水作業事故の防止対策
- ⑦物損事故の防止対策
- ⑧曳航作業等における事故の防止対策
- ⑨建設機械・作業船の作業前点検の徹底
- ⑩作業手順書の周知と徹底
- ⑪有資格者の選任と一覧掲示
- ⑫予定外の作業による事故の防止対策

※1 下線は、令和4年度四国管内で発生した負傷事故(1件)に該当する項目

※2 近年、作業手順に記載のない予定外の作業が発生した事による事故が増加傾向

2. 工事安全にかかる年間実施計画

事故防止を図る目的で、以下取り組みを実施する。

また、全ての行事において当該年度の重点対策、事故事例等を説明。

- 工事安全強化期間(7月、2月に実施予定)
- 安全懇談会、安全衛生講習会
- 本局職員による秋期安全パトロール
- 遠隔臨場による安全パトロール試行

○港湾空港関係における事故事例

港湾空港関係における事故事例(R5.2発生)を紹介します。この事故事例を参考に、現場の安全について、再確認をお願いします。

■事故起因作業

中詰砂投入(中詰砂落下防止シート固定)

■被災経緯

ケーソン中詰砂投入に先立ち、ガット船係留後、中詰砂落下防止シート固定時に、既設ケーソン吊筋と係留ロープに右手指先を挟まれ負傷。(上肢部(指)切断、休業日数 1ヶ月)

■事故要因と防止対策

ガット船を係留後、砂落下防止シートを設置する際、シート端部に設置しているパイプを船員からケーソン上の被災者に直接受け渡したため、シートが風に煽られバランスを失い、咄嗟にケーソンの吊筋につかまりバランスを保とうとした。その際にガット船が動揺し、係留ロープと吊筋間に指を挟み被災した。



- ①ガット船係留後、ゴムレットをガット船から投げ渡してもらい、係船ロープと離隔がとれる場所で固縛ロープ(L≒30m程度)を受け取り、受け取った固縛ロープを利用して砂落下防止シート展張する。
- ②展張後、固縛ロープ長を調整し、砂落下防止シートが所定の位置に来た時にロープを係留で使用している吊筋に固縛する。



<あとがき>

新型コロナウイルスの類型が下がり、日常が戻ってきているように感じます。引き続き、最低限の感染症対策は必要ですが、ここ数年と比べると熱中症対策を講じやすくなるかと思えます。体調不良が原因で事故につながることもありますので、日頃より体調及び現場の管理を徹底し、無事故無災害で工事・業務が終了するよう、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

